

大和市子ども読書活動推進会議 会議記録 (要点筆記)

会議名	平成29年度 第1回 大和市子ども読書活動推進会議
開催日時	平成29年7月5日(水) 15:30~17:00
開催場所	大和市文化創造拠点シリウス6階 601講習室
出席状況	出席委員 出席委員 伏見暢子 今宮智子 古木幸一 田野康志 伊禮利奈 松村佐和子 小林寿子 佐藤明子 中園加奈 佐々木雅子 藤田 莉映子 (順不同・敬称略)
	欠席委員 欠席委員 <推進会議委員> 阿部きふゆ 川村佳織 鶴巻宏子 (順不同・敬称略)
	市側出席者 市側出席者 事務局職員(5名)
	図書館出席者 図書館出席者 <指定管理者>(2名)
	傍聴人人数 傍聴人人数 0人
公開非公開の状況	■公開 □非公開 □一部非公開
審議又は検討経過及び結果	<p>1 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伏見会長より</li> <li>・事務局異動報告</li> </ul> <p>2 議事</p> <p>(1)「実施計画」の評価案と意見案について</p> <p>◎事務局より資料1-1、1-2を元に平成28年度実施計画評価案について説明。</p> <p>質疑・意見他</p> <p>会) ご説明いただいた中で、重点項目の評価について質問等あるか。</p> <p>事) 家読に関して、図書館チャレンジイズは直営時代の後半(H27, H28実施に取り組んだが、今後どうなるか説明願いたい。</p> <p>指) 図書館チャレンジイズは今年も、「夏休み図書館チャレンジイズ」として実施。基本的には去年と同様の内容で実施する予定。</p> <p>委) 評価は、実施の有無に対する評価ではなく、参加者数等の結果に対する評価に変えるべきではないか。</p> <p>事) 評価のあり方については今後、今までも検討が必要だと感じていた。そのため、こども読書わくわくプランでは参加者数等のアウトカムの評価指標を盛り込んでいる。実施計画の評価についても、「評価」ではなく「進捗確認」とする等そのあり方についてはこの会議で検討したいと考えている。</p> <p>委) 今回の評価は、計画期間全体に対する総括として捉えるということだが、一覧表だけ見ると、単年度の取組み内容と評価がアンバランスに感じてしまう。公表する際はその点、説明をしっかりといただきたい。</p> <p>事) 教育委員会への報告の時にはその点しっかりと説明する。</p>

委) 重点項目で唯一C評価の「地域で推進する組織づくり」についてだが、難しいのは理解している、ただ地域の方にも目を向けるという点では素晴らしいと思う。次期計画には入っていないということだが、他の部分で取組んでいただきたい。

会) 図書館の運営が、行政直営から指定管理者に引き継いだことで、双方の良いところが上手に生かされているように思う。重点項目の評価案についてはこれで了承ということではよいか。

→了承

会) 基本方針1、施策の目標(1)番号1から4までの中で意見等あるか。

委) 番号1の「未就学児施設への団体貸出」の充実について、計画期間の初めからずっとC評価であるし、新しい貸出先が増えることがなかったのは残念だ。

事) 市営の保育園に限定した取組みになってしまったことが、1番の原因と考えている。年々貸出先が減ったのは、民営化に伴い直営保育園が減ってしまったためである。範囲を広げていこうという動きが足りなかったのが反省点と考える。

委) 青少年センターが今後旧図書館跡地に移転するが、移転先にも子どものための図書を配置する場所を確保することを希望する。

事) 今の意見は推進会議の意見案として、青少年センターの所管にフィードバックさせていただく。

会) 施策の目標(2)番号5から9の中で意見等あるか。

会) 意見が無ければ評価案は了承ということではよいか。

→了承

会) 施策の目標(3)番号10から15の中で意見等あるか。

会) 番号10の「こどもが楽しく利用できる新図書館の整備」だが、新しくシリウスの3階にこども図書館ができて貸出冊数が増えているということなので、評価がBではなくてAでも良いのではないか。

委) 伸び率や1人当たりの貸出率などの、データを添えたうえで評価を変更すると説得力も増す。

事) データを取組内容の部分に追記したうえで評価をAに変更する。

会) 基本方針2の施策の目標(1)番号16から18の中で意見等はあるか。

会) 意見がなければこの部分は了承ということではよいか。

→了承

会) 施策の目標(2)番号19から23ではどうか。

事) 番号19の「赤ちゃんタイムの実施」について、旧図書館では「こどもタイム」として実施したが、新図書館での扱いを説明願いたい。

指) 旧図書館では、ブックスタートのフォローアップ事業として位置づけ、子どもが大きな声を出したりすることを気がねし、図書館に足を運びにくいという状況をよくするために、声を出してもよい特定の時間を設けていた。新図書館では、3階が子ども専用のフロアになったので、特定の時間を設けなくてもよい状況となった。ブックスタートのフォローアップについても、赤ちゃん向けのおはなし会を月1回から月2回に増やしていることから、「こどもタイム」の代わりとなる取組は実施できていると考えている。

会) 番号20から23で意見等はあるか。

会) 番号23、こども読書関連イベントの実施について提案したい。今年の3月に高校生の朗読を聴いたが、大変素晴らしく、それを聴いた若者も興味を示めていた。これからは、中高生の力を借りて中高生を巻き込んでいく、という発想が必要となる。シリウスは中高生でにぎわっているの、そのようなことも検討して頂きたい。

会) 施策の目標(3) 番号24から26で何かあるか。

委) 今、学校では文化部がとても減っている。部活動が無いので居場所が無く、その代わりに図書館に来ている子もいる。図書館に来る子はもともと本を読むのが好きな子なので、そういった子に図書館で朗読してもらって、他の同年代の子に朗読を聞かせるというボランティア活動を学校公認で実施するという取組みもよいと思う。今はボランティア活動が評価対象として高校入試にプラスになるので、そうすればもっと本を読んでみよう、という子が増えるのではないか。

会) こういったことも検討願いたい。その他は了承ということでよいか。

→了承

会) 施策の目標(4) 番号27から32の中で意見等あるか。

委) 番号28、こどもの年齢に応じたブックリストの配布について、発行部数が0部のものがあるのに評価がAだと、取組内容と評価が合わない印象を受ける。

事) 昨年度は移転にあたり、ブックリストの在庫調整をした関係で、発行が0部のものもあった。評価はあくまで計画期間全体についてだが、単年度の実績だけ見ると、評価がアンバランスな印象を受けるので発行が無いものは表記しない方向で検討したい。

会) 施策の目標(5) 番号33から36の中で意見等あるか。

→意見なし

- 会) 基本方針3の施策の目標(1)番号37から43の中で意見等あるか。
- 会) 番号41の学校と図書館の連携の強化について、最近では学校と図書館の関係がやや薄くなっていると感じる。学校の方も、学校図書館が充実していればよいというだけではなく、公共図書館と意図的に連携を取り、子どもを学校教育から社会教育の場へとつなげていかなければいけない。
- 事) 平成28年度は移転に注力したことで、平成27年に比べて、学校教育の場と公共図書館との関係が薄くなってしまったことは確かに感じていた。それも踏まえ、推進会議の意見案には今後連携を促すような表記を追加したい。

- 会) 最後の部分、施策の目標(2)番号44から46の中で意見等あるか。
- 委) シリウスの図書館だけが良くなってもダメだと思う。来館者数がいくら増えても、旧図書館から近いとはいえ、移転したことでむしろ足が遠のいてしまっている子もいる。
- だから、シリウスで毎週やっている企画を他の学習センター等でもやってみてはどうかと思う。シリウスの図書館が開館してひと段落したのであれば、他の地域にも視線を向けてほしい。
- 事) たしかに、大和市全体の充実を考えなければならない。今後はシリウス図書館から範囲を広げて考えたい。
- 委) 補足意見として全体に、シリウスは駐車料金が低い。割引制度を検討願う。
- 会) 以上で評価案は了承し、修正等は事務局の一任ということで良いか。
- 了承

(2) 第40回大和市民まつり実施報告について

◎事務局より、資料2-1~3をもとに、市民まつりの実施報告。

質疑・意見他

- 副) こういう直接子どもや親子とふれあう活動を通して、見えてくることもある。これからも良い形で指定管理者と協力しつつ進めていきたい。
- 会) 来年の市民まつりも参加するというのでよいか。
- 了承

(3) その他について

◎事務局より、委員の任期(平成30年5月まで)確認及び、今年度末のにまた市民委員公募、各団体への推薦依頼を行うことについて連絡。

質疑・意見他

特になし。

以上